

**本庄市**  
**地域福祉計画・地域福祉活動計画**  
**策定のための自治会アンケート**  
**結果報告書**

令和5年3月

本庄市・本庄市社会福祉協議会



# 目 次

I	調査の概要 .....	1
1	調査の概要.....	1
	(1) 調査目的 .....	1
	(2) 調査対象及び調査方法.....	1
	(3) 配布数及び回収結果.....	1
2	本調査報告書の基本的な事項.....	1
	(1) 数値の基本的な取り扱いについて.....	1
II	調査結果 .....	2
1	自治会について.....	2
	(1) 地域住民からの相談件数（月当たり） .....	2
	(2) 取り組んでいる地域活動.....	3
	(3) 自治会活動への参加状況の変化.....	4
2	自治会の組織運営について.....	5
	(1) 地域活動を行う上での取り組み.....	5
	(2) 自治会運営での課題.....	6
	(3) 地域活動を行う上での課題.....	7
3	自治会の活動地域の課題について.....	8
	(1) 地域の問題点.....	8
	(2) 身近な地域での情報共有の仕組み.....	10
	(3) 身近な地域での情報共有で必要なこと.....	11
	(4) 市との関係性.....	12
	(5) 市に期待する支援.....	13
	(6) 地域活動の活性化に必要な市の取組.....	14
	(7) 社会福祉協議会との関係性.....	15
	(8) 社会福祉協議会に期待する支援.....	16
	(9) 重要な社会福祉協議会の取組.....	17
	(10) 地域活動の活性化に必要な社会福祉協議会の取組.....	18
	(11) 民生委員・児童委員との連携.....	19
	(12) 民生委員・児童委員に期待する取組.....	20
	(13) 自由意見 .....	21



# I 調査の概要

## 1 調査の概要

### (1) 調査目的

本調査は、新たな「地域福祉計画・地域福祉活動計画」の策定にあたり、自治会の活動状況や課題等を把握し、計画の基礎資料とすることを目的に実施した。

### (2) 調査対象及び調査方法

項目	内容
調査対象	本庄市内の自治会
配布数	85
抽出法	全数抽出
調査方法	郵送による配布・回収
調査時期	令和4年12月
調査地域	本庄市全域

### (3) 配布数及び回収結果

配布数	85
有効回収数	63
有効回収率	74.1%

## 2 本調査報告書の基本的な事項

### (1) 数値の基本的な取り扱いについて

- ①比率はすべて百分率(%)で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出している。したがって、合計が100%を上下する場合もある。
- ②基数となるべき実数は、“n=〇〇〇”として掲載し、各比率はnを100%として算出している。
- ③質問の終わりに【複数回答】とある問は、1人の回答者が2つ以上の回答を出しても良い問である。したがって、各回答の合計比率は100%を超える場合がある。

## Ⅱ 調査結果

### 1 自治会について

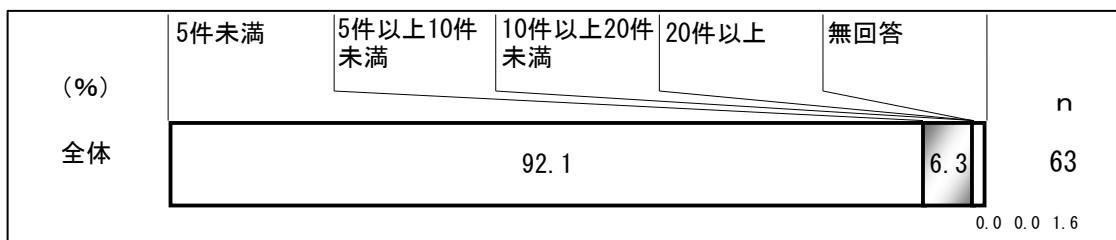
#### (1) 地域住民からの相談件数（月当たり）

問2 地域の方からの悩みや相談を、何件ぐらい受けていますか。

- 「5件未満」が9割強を占める。

地域住民からの相談件数（月当たり）は、「5件未満」が92.1%、「5件以上10件未満」が6.3%、「10件以上20件未満」・「20件以上」が0.0%となっている。

図表 地域住民からの相談件数（月当たり）（全体）



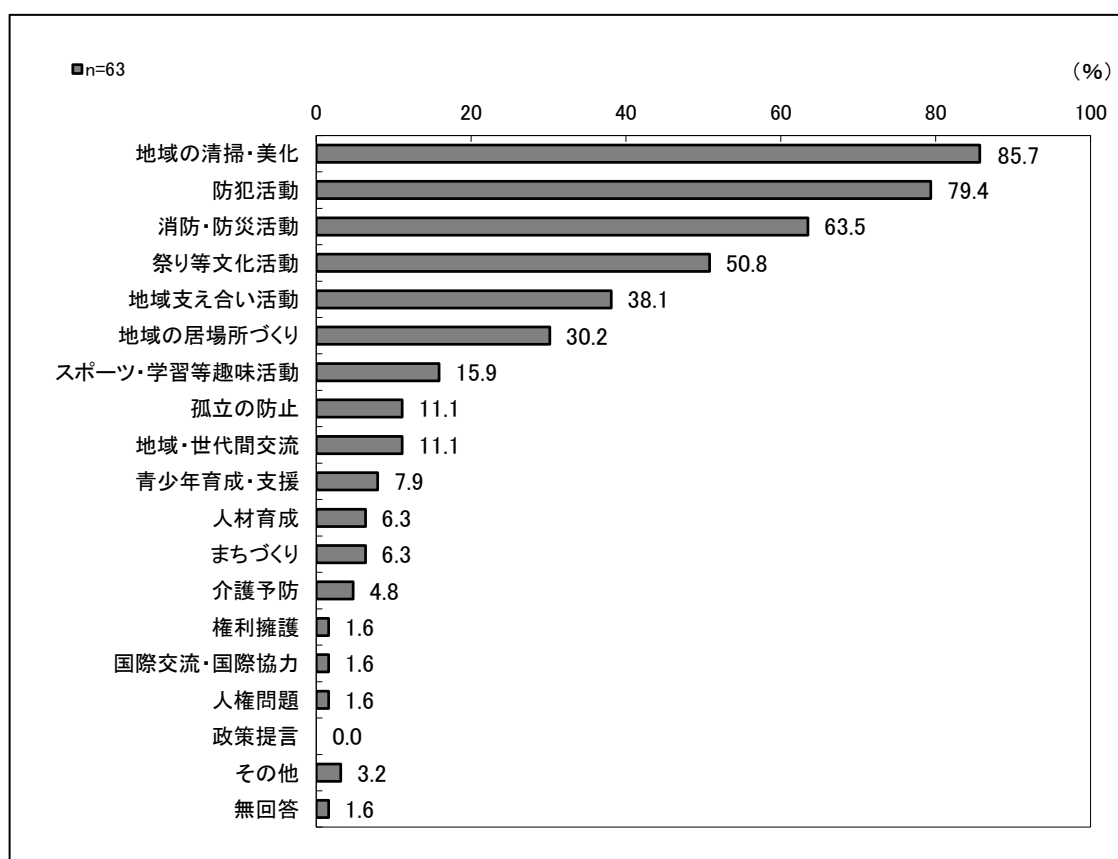
## (2) 取り組んでいる地域活動

問3 貴自治会で取り組んでいる地域活動の分野は、次のどれにあてはまりますか。【複数回答】

- 「地域の清掃・美化」が第1位。「防犯活動」、「消防・防災活動」などが続く。

取り組んでいる地域活動は、「地域の清掃・美化」(85.7%)が最も多く、次いで「防犯活動」(79.4%)、「消防・防災活動」(63.5%)、「祭り等文化活動」(50.8%)、「地域支え合い活動」(38.1%)、「地域の居場所づくり」(30.2%)、「スポーツ・学習等趣味活動」(15.9%)、「孤立の防止」・「地域・世代間交流」(同率11.1%)、「青少年育成・支援」(7.9%)、「人材育成」・「まちづくり」(同率6.3%)、「介護予防」(4.8%)、「権利擁護」・「国際交流・国際協力」・「人権問題」(同率1.6%)、「政策提言」(0.0%)などとなっている。

図表 取り組んでいる地域活動（全体／複数回答）



(3) 自治会活動への参加状況の変化

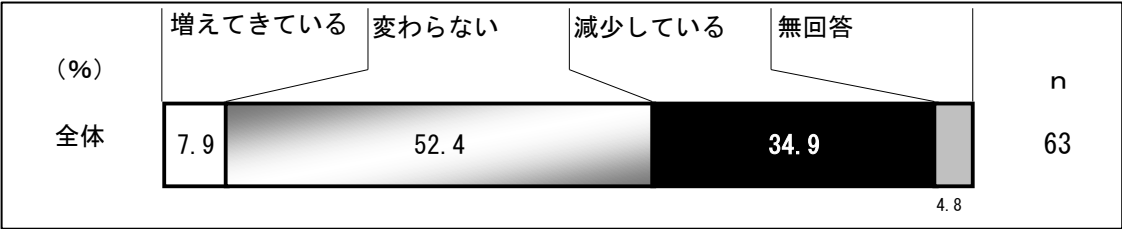
問4 貴自治会の活動の参加人数は昨年同時期と比較してどう変化していますか。



- 「変わらない」が5割強、「減少している」が3割強を占める。

自治会活動への参加状況の変化は、「変わらない」が52.4%、「減少している」が34.9%、「増えてきている」が7.9%となっている。

図表 自治会活動への参加状況の変化（全体）





## 2 自治会の組織運営について

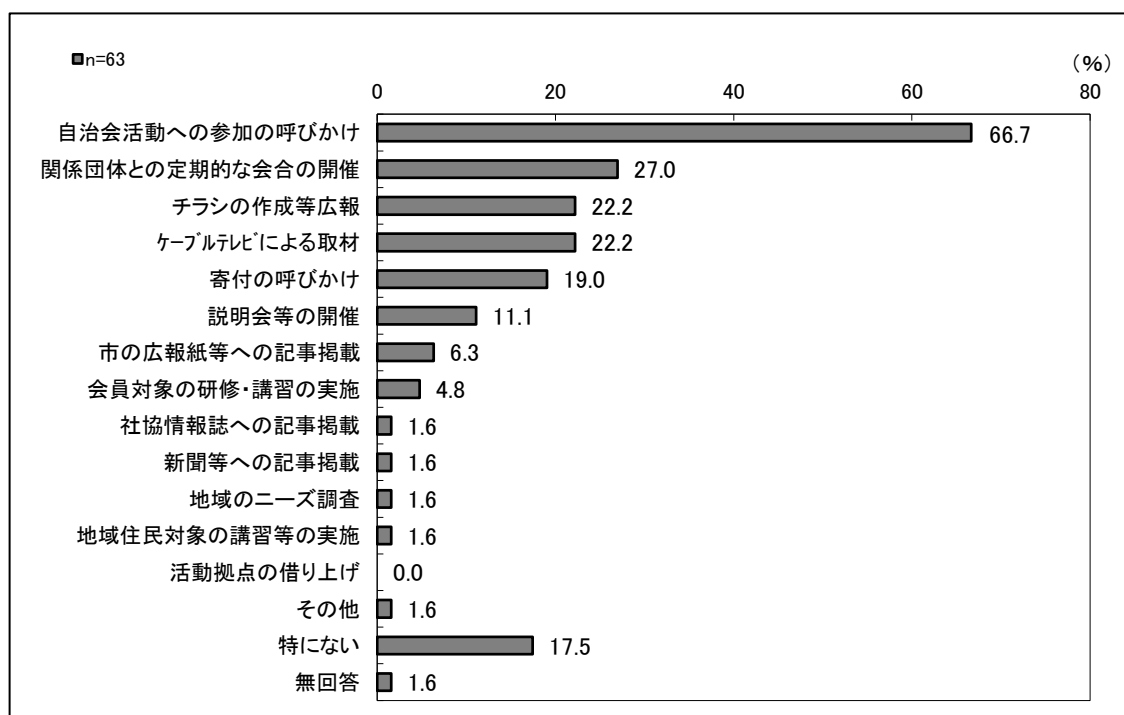
### (1) 地域活動を行う上での取り組み

問5 貴自治会が地域活動を円滑に行う上で、取り組んでいることは何ですか。【複数回答】

- 「自治会活動への参加の呼びかけ」が第1位。「関係団体との定期的な会合の開催」、「チラシの作成等広報」などが続く。

地域活動を行う上での取り組みは、「自治会活動への参加の呼びかけ」(66.7%)が最も多く、次いで「関係団体との定期的な会合の開催」(27.0%)、「チラシの作成等広報」・「ケーブルテレビ」による取材(同率22.2%)、「寄付の呼びかけ」(19.0%)、「説明会等の開催」(11.1%)、「市の広報紙等への記事掲載」(6.3%)、「会員対象の研修・講習の実施」(4.8%)、「社協情報誌への記事掲載」・「新聞等への記事掲載」・「地域のニーズ調査」・「地域住民対象の講習等の実施」(同率1.6%)、「活動拠点の借り上げ」(0.0%)となっている。なお、「特にない」は17.5%となっている。

図表 地域活動を行う上での取り組み（全体／複数回答）



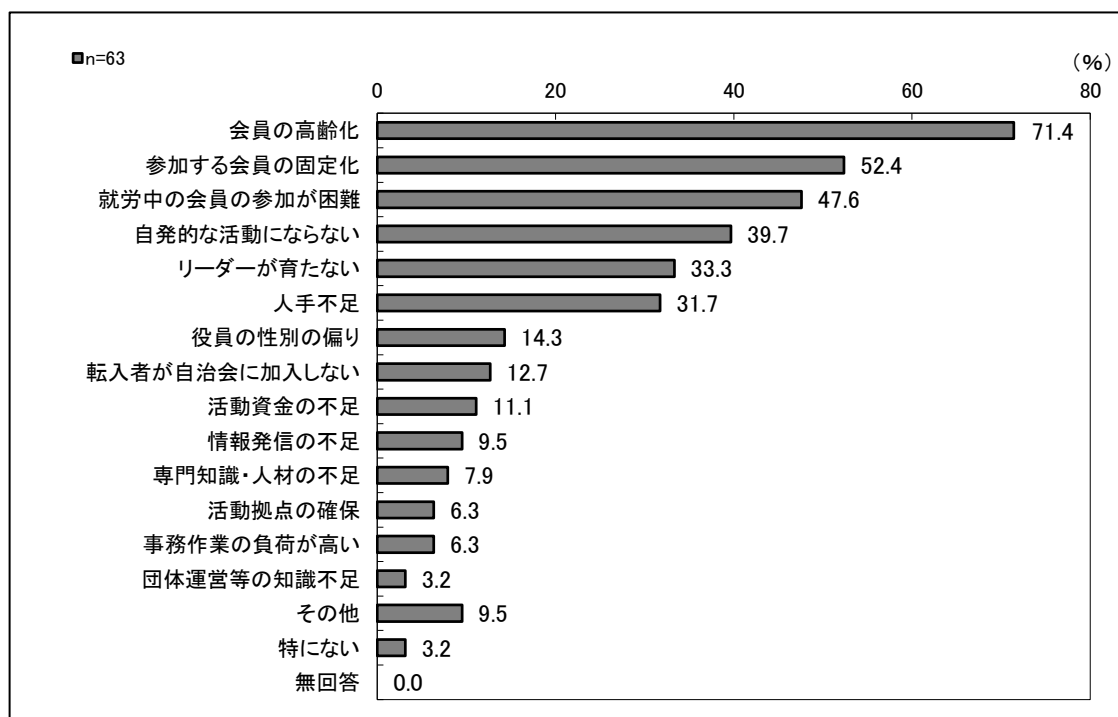
## (2) 自治会運営での課題

問6 貴自治会を運営する上で困っていることや課題は何ですか。【複数回答】

- 「会員の高齢化」が第1位。「参加する会員の固定化」、「就労中の会員の参加が困難」などが続く。

自治会運営での課題は、「会員の高齢化」(71.4%)が最も多く、次いで「参加する会員の固定化」(52.4%)、「就労中の会員の参加が困難」(47.6%)、「自発的な活動にならない」(39.7%)、「リーダーが育たない」(33.3%)、「人手不足」(31.7%)、「役員の性別の偏り」(14.3%)、「転入者が自治会に加入しない」(12.7%)、「活動資金の不足」(11.1%)、「情報発信の不足」(9.5%)、「専門知識・人材の不足」(7.9%)、「活動拠点の確保」・「事務作業の負荷が高い」(同率 6.3%)、「団体運営等の知識不足」(3.2%)となっている。なお、「特にない」は3.2%となっている。

図表 自治会運営での課題（全体／複数回答）



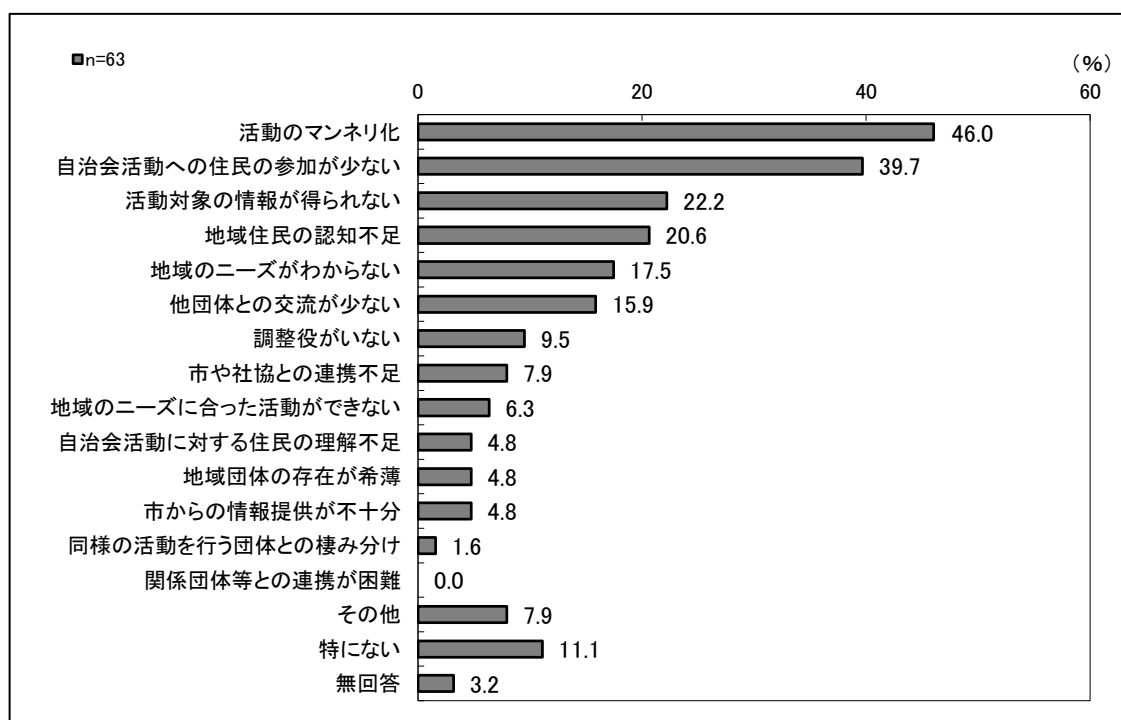
### (3) 地域活動を行う上での課題

問7 貴自治会が地域活動を行う上で困っていることや課題は何ですか。【複数回答】

- 「活動のマンネリ化」が第1位。「自治会活動への住民の参加が少ない」、「活動対象の情報が得られない」などが続く。

地域活動を行う上での課題は、「活動のマンネリ化」(46.0%)が最も多く、次いで「自治会活動への住民の参加が少ない」(39.7%)、「活動対象の情報が得られない」(22.2%)、「地域住民の認知不足」(20.6%)、「地域のニーズがわからない」(17.5%)、「他団体との交流が少ない」(15.9%)、「調整役がいない」(9.5%)、「市や社協との連携不足」(7.9%)、「地域のニーズに合った活動ができない」(6.3%)、「自治会活動に対する住民の理解不足」・「地域団体の存在が希薄」・「市からの情報提供が不十分」(同率4.8%)、「同様の活動を行う団体との棲み分け」(1.6%)、「関係団体等との連携が困難」(0.0%)となっている。なお、「特にない」は11.1%となっている。

図表 地域活動を行う上での課題（全体／複数回答）



### 3 自治会の活動地域の課題について

#### (1) 地域の問題点

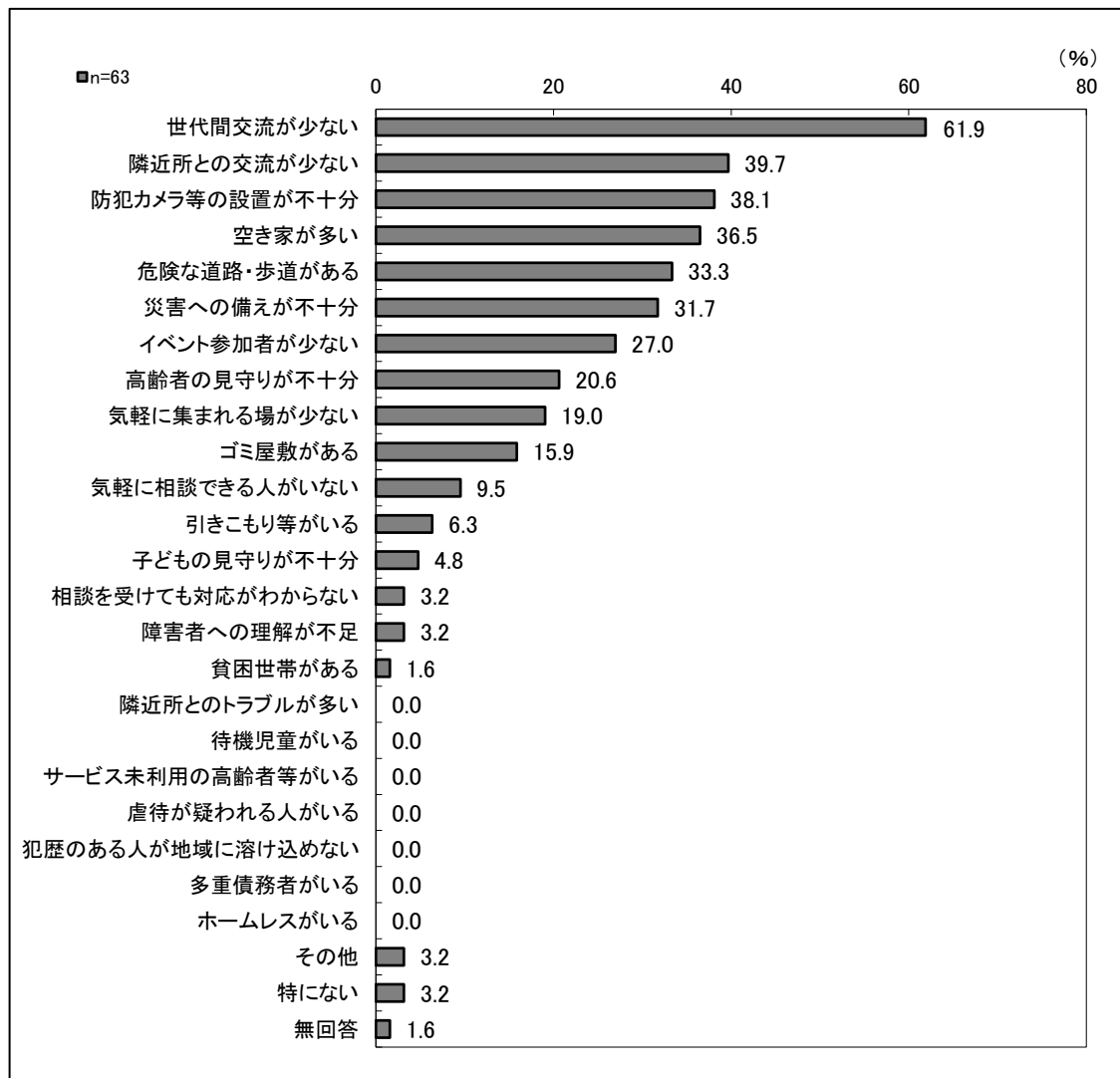
問8 貴自治会が活動を行っている地域で感じる問題点は何ですか。【複数回答】



- 「世代間交流が少ない」が第1位。「隣近所との交流が少ない」、「防犯カメラ等の設置が不十分」などが続く。

地域の問題点は、「世代間交流が少ない」(61.9%)が最も多く、次いで「隣近所との交流が少ない」(39.7%)、「防犯カメラ等の設置が不十分」(38.1%)、「空き家が多い」(36.5%)、「危険な道路・歩道がある」(33.3%)、「災害への備えが不十分」(31.7%)、「イベント参加者が少ない」(27.0%)、「高齢者の見守りが不十分」(20.6%)、「気軽に集まれる場が少ない」(19.0%)、「ゴミ屋敷がある」(15.9%)、「気軽に相談できる人がいない」(9.5%)、「引きこもり等がいる」(6.3%)、「子どもの見守りが不十分」(4.8%)、「相談を受けても対応がわからない」・「障害者への理解が不足」(同率 3.2%)、「貧困世帯がある」(1.6%)、「隣近所とのトラブルが多い」・「待機児童がいる」・「サービス未利用の高齢者等がいる」・「虐待が疑われる人がいる」・「犯歴のある人が地域に溶け込めない」・「多重債務者がいる」・「ホームレスがいる」(同率 0.0%)となっている。なお、「特になし」は 3.2%となっている。

図表 地域の問題点（全体／複数回答）



## (2) 身近な地域での情報共有の仕組み

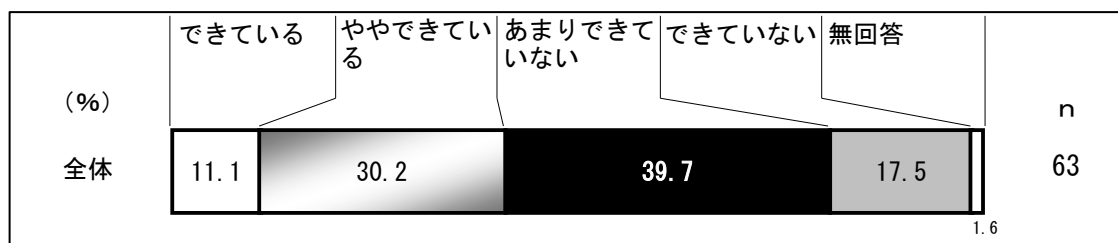
問9 貴自治会から見て、コミュニティ活動や地域の課題などについて、身近な地域での情報共有のしくみができていると思いますか。



- “できていない” が6割弱、“できている” が4割強を占める。

身近な地域での情報共有の仕組みは、「できている」(11.1%)と「ややできている」(30.2%)を合わせた“できている”が41.3%、「あまりできていない」(39.7%)と「できていない」(17.5%)を合わせた“できていない”が57.2%となっている。

図表 身近な地域での情報共有の仕組み（全体）



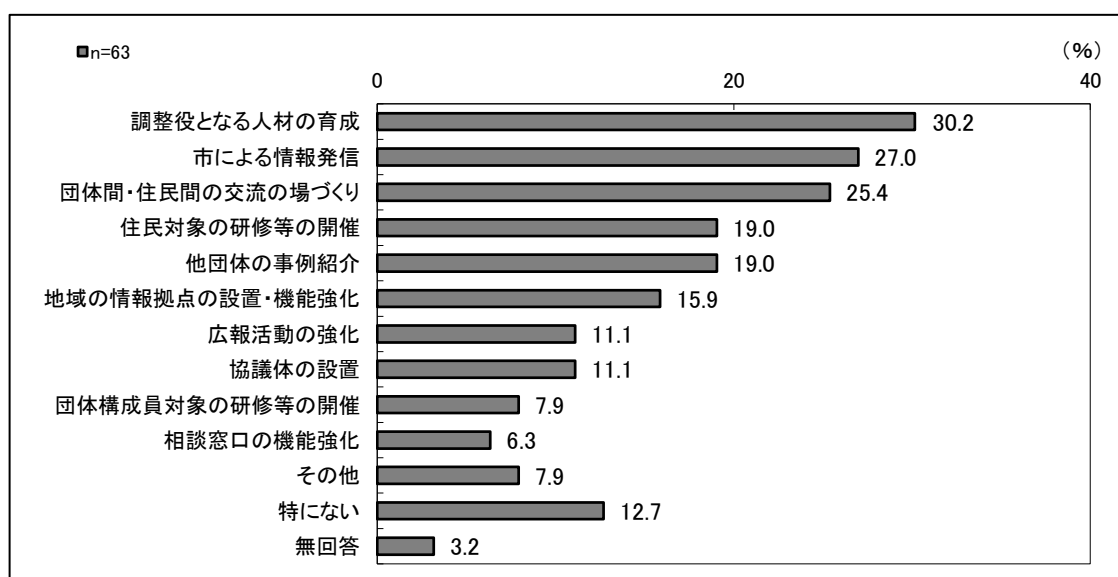
### (3) 身近な地域での情報共有で必要なこと

問 10 今後、身近な地域での情報共有や住民との連携をさらに進めていくために、何が必要と考えていますか。【複数回答】

- 「調整役となる人材の育成」が第1位。「市による情報発信」、「団体間・住民間の交流の場づくり」などが続く。

身近な地域での情報共有で必要なことは、「調整役となる人材の育成」(30.2%)が最も多く、次いで「市による情報発信」(27.0%)、「団体間・住民間の交流の場づくり」(25.4%)、「住民対象の研修等の開催」・「他団体の事例紹介」(同率 19.0%)、「地域の情報拠点の設置・機能強化」(15.9%)、「広報活動の強化」・「協議体の設置」(同率 11.1%)、「団体構成員対象の研修等の開催」(7.9%)、「相談窓口の機能強化」(6.3%)となっている。なお、「特にない」は 12.7%となっている。

図表 身近な地域での情報共有で必要なこと（全体／複数回答）



#### (4) 市との関係性

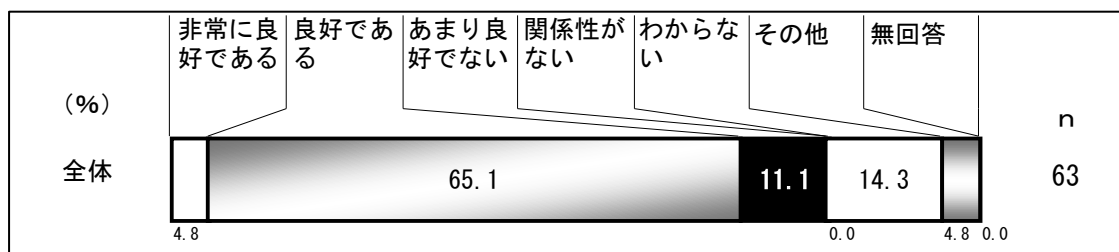
問 11 貴自治会は、市との関係性についてどのように感じていますか。



- “良好である”が7割弱、「あまり良好でない」が1割強を占める。

市との関係性は、「非常に良好である」(4.8%)と「良好である」(65.1%)を合わせた”良好である”が69.9%、「わからない」が14.3%、「あまり良好でない」が11.1%、「関係性がない」が0.0%となっている。

図表 市との関係性（全体）





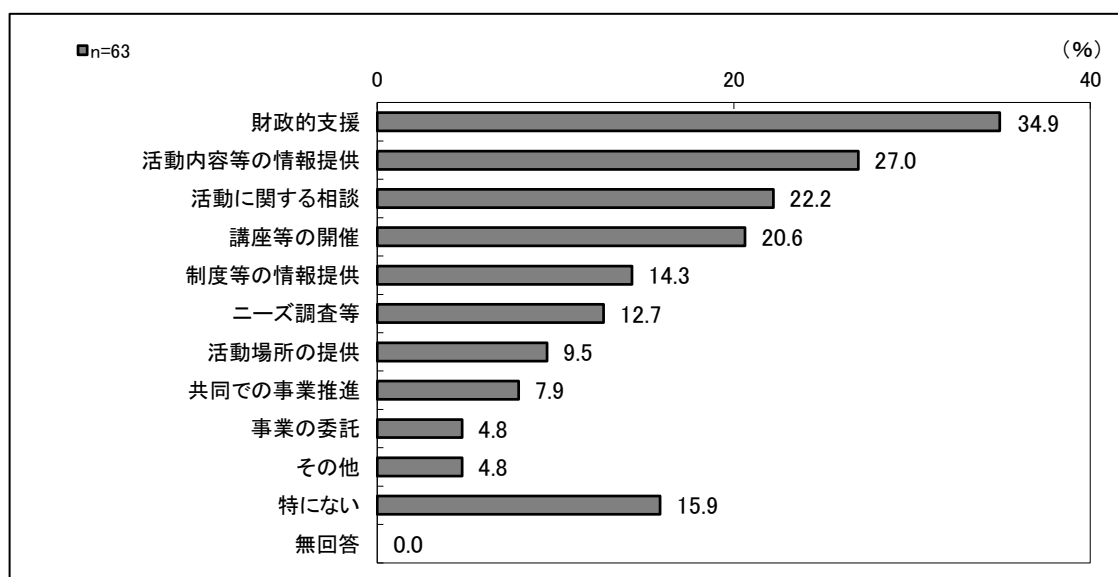
## (5) 市に期待する支援

問 12 貴自治会が地域活動を行う上で、市にどのような支援を期待しますか。【複数回答】

- 「財政的支援」が第1位。「活動内容等の情報提供」、「活動に関する相談」などが続く。

市に期待する支援は、「財政的支援」(34.9%)が最も多く、次いで「活動内容等の情報提供」(27.0%)、「活動に関する相談」(22.2%)、「講座等の開催」(20.6%)、「制度等の情報提供」(14.3%)、「ニーズ調査等」(12.7%)、「活動場所の提供」(9.5%)、「共同での事業推進」(7.9%)、「事業の委託」(4.8%)となっている。なお、「特にない」が15.9%となっている。

図表 市に期待する支援（全体／複数回答）



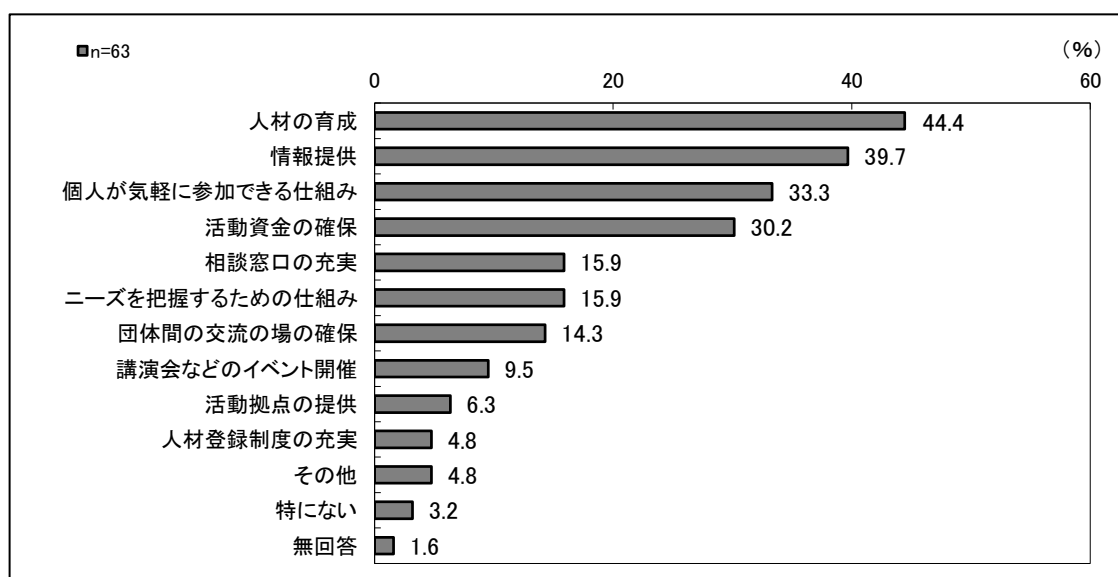
## (6) 地域活動の活性化に必要な市の取組

問 13 今後、貴自治会の活動を含めた本庄市内の地域活動をさらに活性化させるために、市がどのような取り組みを行うことが必要だと思いますか。【複数回答】

- 「人材の育成」が第1位。「情報提供」、「個人が気軽に参加できる仕組み」などが続く。

地域活動の活性化に必要な市の取組は、「人材の育成」(44.4%)が最も多く、次いで「情報提供」(39.7%)、「個人が気軽に参加できる仕組み」(33.3%)、「活動資金の確保」(30.2%)、「相談窓口の充実」・「ニーズを把握するための仕組み」(同率 15.9%)、「団体間の交流の場の確保」(14.3%)、「講演会などのイベント開催」(9.5%)、「活動拠点の提供」(6.3%)、「人材登録制度の充実」(4.8%)となっている。なお、「特にない」は3.2%となっている。

図表 地域活動の活性化に必要な市の取組（全体／複数回答）



## (7) 社会福祉協議会との関係性

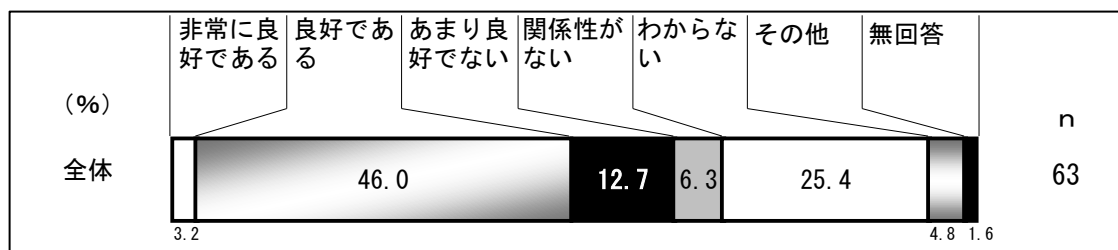
問 14 貴自治会は、社会福祉協議会との関係性についてどのように感じていますか。



- “良好である” が5割弱、「あまり良好でない」が1割強を占める。

社会福祉協議会との関係性は、「非常に良好である」(3.2%)と「良好である」(46.0%)を合わせた“良好である”が49.2%を占める。「あまり良好でない」が12.7%、「関係性がない」が6.3%、「わからない」が25.4%となっている。

図表 社会福祉協議会との関係性（全体）



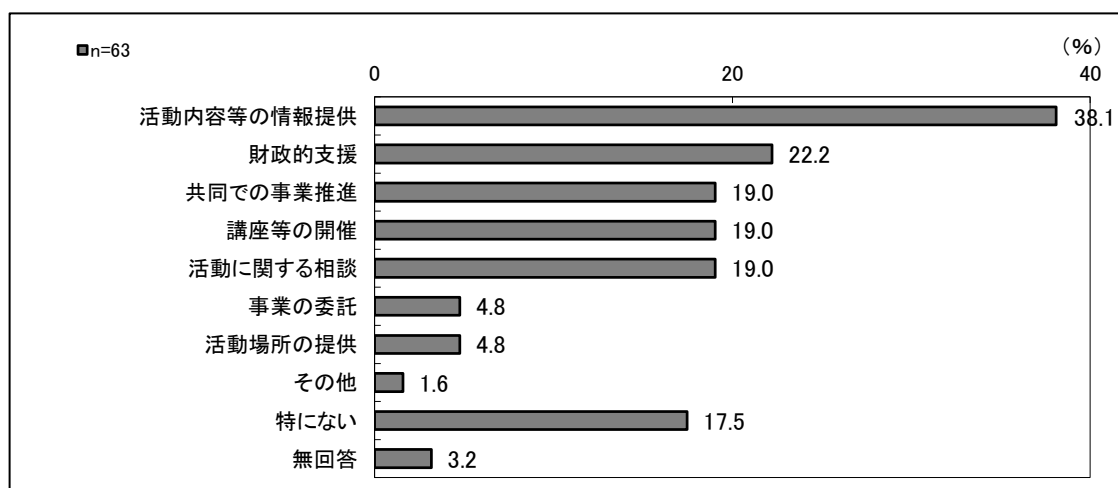
## (8) 社会福祉協議会に期待する支援

問 15 貴自治会が地域活動を行う上で、社会福祉協議会にどのような支援・取り組みを期待しますか。【複数回答】

- 「活動内容等の情報提供」が第1位。「財政的支援」などが続く。

社会福祉協議会に期待する支援は、「活動内容等の情報提供」(38.1%)が最も多く、次いで「財政的支援」(22.2%)、「共同での事業推進」・「講座等の開催」・「活動に関する相談」(同率19.0%)、「事業の委託」・「活動場所の提供」(同率4.8%)となっている。なお、「特にない」が17.5%となっている。

図表 社会福祉協議会に期待する支援（全体／複数回答）



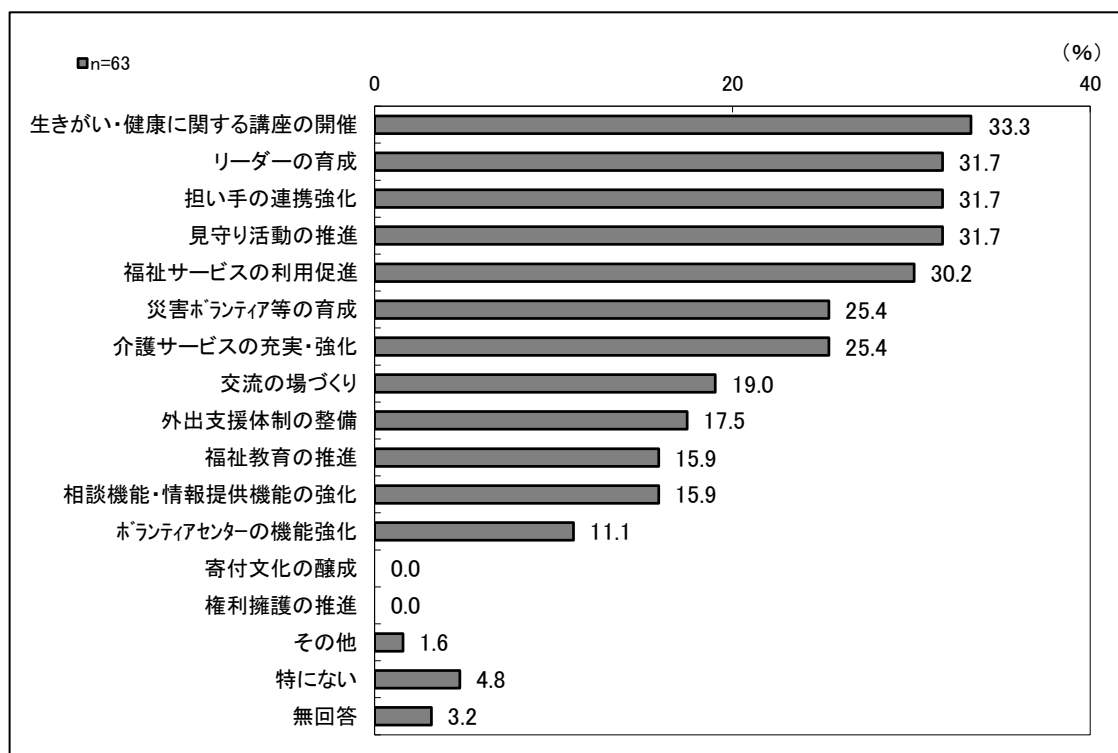
## (9) 重要な社会福祉協議会の取組

問 16 貴自治会は、社会福祉協議会の活動としてどのような取り組みが重要だと思いますか。【複数回答】

- 「生きがい・健康に関する講座の開催」が第1位。「リーダーの育成」・「担い手の連携強化」・「見守り活動の推進」などが続く。

重要な社会福祉協議会の取組は、「生きがい・健康に関する講座の開催」(33.3%)が最も多く、次いで「リーダーの育成」・「担い手の連携強化」・「見守り活動の推進」(同率 31.7%)、「福祉サービスの利用促進」(30.2%)、「災害ボランティア等の育成」・「介護サービスの充実・強化」(同率 25.4%)、「交流の場づくり」(19.0%)、「外出支援体制の整備」(17.5%)、「福祉教育の推進」・「相談機能・情報提供機能の強化」(同率 15.9%)、「ボランティアセンターの機能強化」(11.1%)、「寄付文化の醸成」・「権利擁護の推進」(同率 0.0%)となっている。なお、「特にない」は 4.8%となっている。

図表 重要な社会福祉協議会の取組（全体／複数回答）



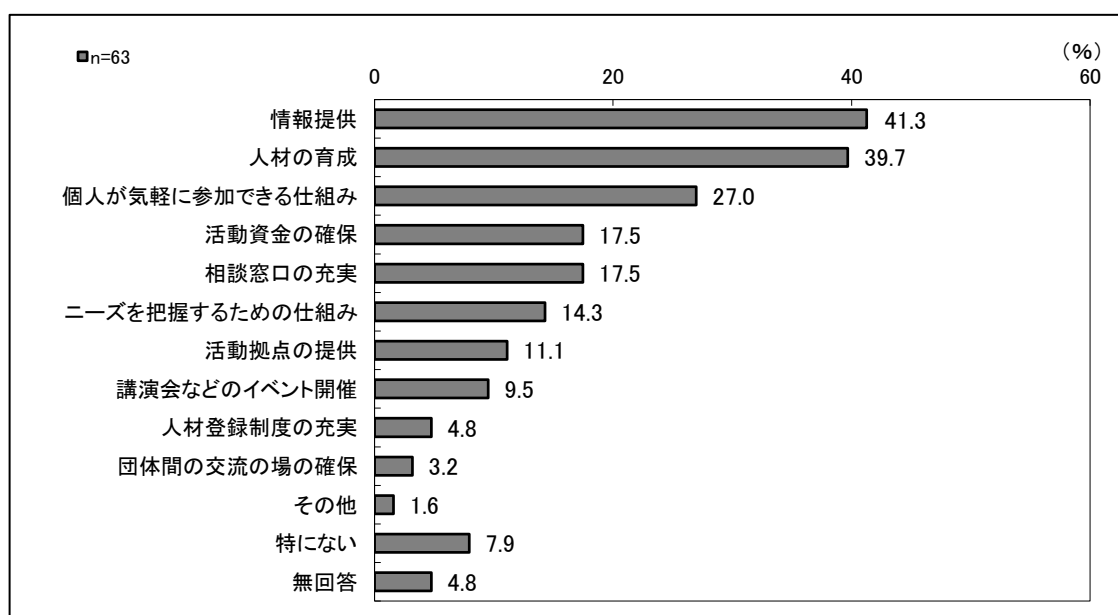
## (10) 地域活動の活性化に必要な社会福祉協議会の取組

問 17 今後、地域活動をさらに活性化させるために、社会福祉協議会がどのような取り組みを行うことが必要と考えていますか。【複数回答】

- 「情報提供」が第1位。「人材の育成」、「個人が気軽に参加できる仕組み」などが続く。

地域活動の活性化に必要な社会福祉協議会の取組は、「情報提供」(41.3%)が最も多く、次いで「人材の育成」(39.7%)、「個人が気軽に参加できる仕組み」(27.0%)、「活動資金の確保」・「相談窓口の充実」(同率 17.5%)、「ニーズを把握するための仕組み」(14.3%)、「活動拠点の提供」(11.1%)、「講演会などのイベント開催」(9.5%)、「人材登録制度の充実」(4.8%)、「団体間の交流の場の確保」(3.2%)となっている。なお、「特にない」は 7.9%となっている。

図表 地域活動の活性化に必要な社会福祉協議会の取組（全体／複数回答）



## (11) 民生委員・児童委員との連携

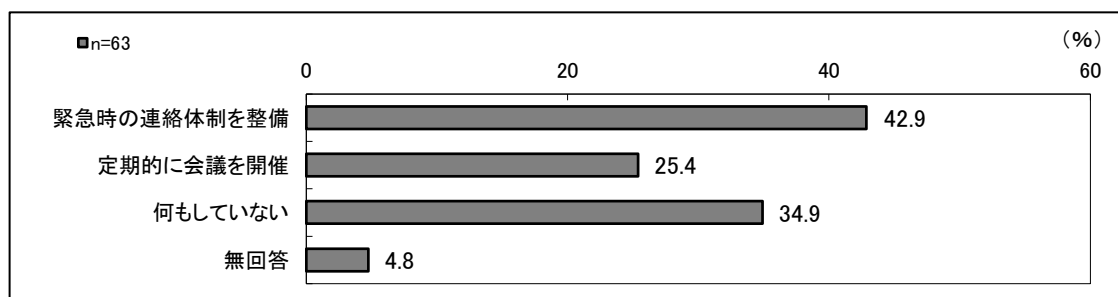
問 18 貴自治会区の民生委員・児童委員との連携について、あてはまるものをご回答ください。【複数回答】



- 「緊急時の連絡体制を整備」が第1位。「何もしていない」は34.9%を占める。

民生委員・児童委員との連携は、「緊急時の連絡体制を整備」(42.9%)が最も多く、次いで「定期的に会議を開催」(25.4%)となっている。なお、「何もしていない」は34.9%となっている。

図表 民生委員・児童委員との連携（全体／複数回答）



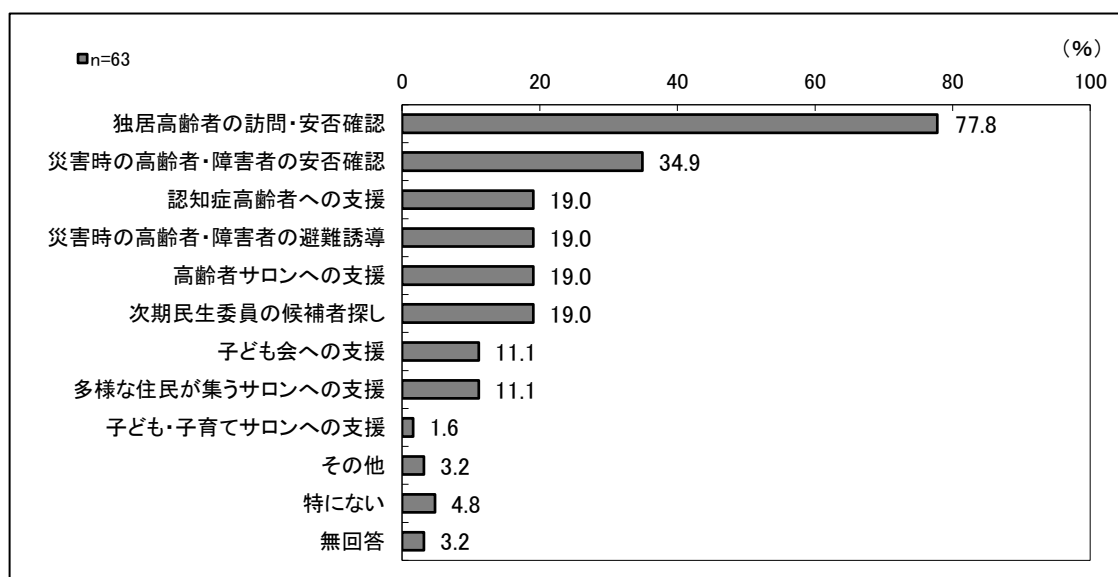
## (12) 民生委員・児童委員に期待する取組

問 19 民生委員・児童委員にどのような取り組みを期待していますか。【複数回答】

- 「独居高齢者の訪問・安否確認」が第1位。「災害時の高齢者・障害者の安否確認」などが続く。

民生委員・児童委員に期待する取組は、「独居高齢者の訪問・安否確認」(77.8%)が最も多く、次いで「災害時の高齢者・障害者の安否確認」(34.9%)、「認知症高齢者への支援」・「災害時の高齢者・障害者の避難誘導」・「高齢者サロンへの支援」・「次期民生委員の候補者探し」(同率 19.0%)、「子ども会への支援」・「多様な住民が集うサロンへの支援」(同率 11.1%)、「子ども・子育てサロンへの支援」(1.6%)となっている。なお、「特にない」が4.8%となっている。

図表 民生委員・児童委員に期待する取組（全体／複数回答）





### (13) 自由意見

問 20 今後、本庄市内における地域活動として、貴自治会が新たに行いたい取り組みがありましたら、ご回答ください。また、地域の課題や改善すべきことなどがありましたらご自由にお書きください。

寄せられた回答は以下のとおり。

#### 図表 自由意見

- 高齢者サロンの開催。世代間の交流を通し、地域全体を1つの家族としたい。子ども会と高齢者の間の世代の交流活動が皆無である。
- 会員の高齢化が進む中、何か元気の素と思うものの、思うだけで終わっております。
- 敬老会のようなイベントを4月から5月頃に開催したらどうでしょうか。年2回くらいの楽しみがあっても良いと思う。
- 計画の策定上、様々な文言を述べているが、実際にこの計画すべき活動を実行する人材が自治会内に存在しない。全く興味も関心もない人を振り向かせることができない。計画の策定などではなく、一人ひとりに訴えることしかないのではないか。
- 本当は活動資金、財政的支援に〇を付けたい項目もありますが、頂くための仕組みが面倒なので緩和し、自由に使える資金として支援できる仕組みづくりを検討していただけると良いと思われます。
- 私どもの自治会は児玉町の自治会（36自治会）の1つです。現在は本庄市となり色々とお世話になっているわけですが、かつて盛んに行われていた町民体育大会等行事もなくなり、地域の住民が集い互いに協力、応援する様なコミュニケーションの場がまったくなくなってしまいました。もう一度、原点にかえて皆で考えてみてはどうでしょうか。
- 少子高齢化に伴い自治会としても地域活動が難しい状態の中、本庄市におけるゴミ出しのルール等、日々の暮らしの中で必要な情報の伝達方法を考える時期に来ていると思います。個人情報保護の問題もあり、むやみに声かけもできないので、市役所の窓口でも積極的に情報発信してもらえると良いと思います。
- 避難行動要支援制度の運用について、各地域で温度差がある。これを組織横断的に検討したと思う。
- 自治会館がない（反対者が多い）。
- 定期的に小規模でもいいから、気軽なふれあいの場・機会をつくりたい。
- 市は地域活動を行っていない。自治会長に任せっぱなし。
- 7年続けた自治会内交流の芋煮会が、コロナにより3年開催できていない。継続できないと面倒であるとの意識が強くなり、リーダーが立ち上げて再開していけるか不安である。再開しても、主要メンバーが離れると終わってしまうのではと危惧している。
- 空き家対策。高齢者への支援。
- 道路を改良する場所が多すぎる。早急に改善を望む。
- 地区内でさくらの会（さくらの開花時期）において、地域住民との交流を今以上に図りたい。